

廃棄物・再生資源の電子取引市場とバイオマス燃料普及の可能性

有識者のコメント

廃棄物関連法人や地方自治体が、廃棄物のリサイクルあるいは適正処理を目的としてリサイクルネットと呼ばれる情報交換のためのインターネット上の掲示板を運営している例がいくつもある。しかし、これらのシステムでは、ネットオークションと同様に、通常、掲示板の運営者は取引に関与しない。リサイクルワンの電子取引市場は、排出業者と処理業者の間で積極的に働きかけを行うところが特色であり、セールスポイントでもある。廃棄物の長期保管は、経済的な負担をもたらすだけでなく、ときによっては社会問題となりかねない。排出企業は取引先の斡旋のみならず、処理に関するコンサルティングを受けることもできる。また、再生・処理企業としても、必要な廃棄物の質と量が保証できることから、本システム活用のメリットは大きい。バイオマス・ニッポン総合戦略の推進、さらには持続可能な社会の実現の一助となるよう、木材関係者としてリサイクルワンの今後に期待したい。

森林総合研究所
木材乾燥研究室長 高野 勉



株式会社リサイクルワン
取締役兼 COO

本田 大作

会社概要

設立 2000年5月30日（ごみゼロの日）
所在地 本社：東京都渋谷区桜丘町14-1
TEL：03-3464-3566
FAX：03-5428-2605
E-MAIL：honda@recycle1.com
代表者 代表取締役 本南 陽介
資本金 1,000万円
社員 20人
事業内容 ① 廃棄物・再生資源の電子取引市場の運営
② 環境・リサイクル関連の調査研究
③ リサイクル事業化支援業務
④ 再生資源・再生製品の販売業
⑤ 土壌汚染対策業務

1. 「廃棄物・再生資源の電子取引市場リサイクルワン」の現状

(1) 我が国最大の会員数とデータベース

リサイクルワンでは、会員制を取っており、2004年11月末現在、廃棄物を排出する排出会員800社と再生処理会員210社で運営されている。データベースとしては、中間処理企業6,000社9,500施設、リサイクル施設1,000社、再生素材利用企業（プラスチック加工製品工場等）500社が実装され、日々内容が更新されている。

(2) 再生資源・廃棄物のマッチング方法

排出企業は、自社の事業所から発生する廃棄物の発生状況（排出時期、排出場所、排出量、希望金額、排出物の詳細情報、排出頻度等）を発注フォームから記入する。発注フォームに従い、専属のマッチングオペレーターにより、データベースから条件にあう3社を抽出し、3社から見積もりを取り、排出企業に提示する。しかしながら、データベースだけでは「処理困難物」や「少量」、「価格」の面で候補が見つからないケースもある。そのため、再生処理会員を中心に顧客名を伏せて広く応募し、さらに掲示板を活用し広く会員外からも情報を得ることによって委託先候補を確保する。

場合によっては、排出企業から廃棄物のサンプルや分析データを得て、委託先に提示し、マッチングを成立させている。

2. 電子取引市場を活用した新たな展開

(1) コストダウンを目指したゼロエミッションコンサルティング

* 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町14-1 ハッチェリー渋谷
Tel 03-3464-3566
Fax 03-5428-2605
URL <http://www.recycle1.com>